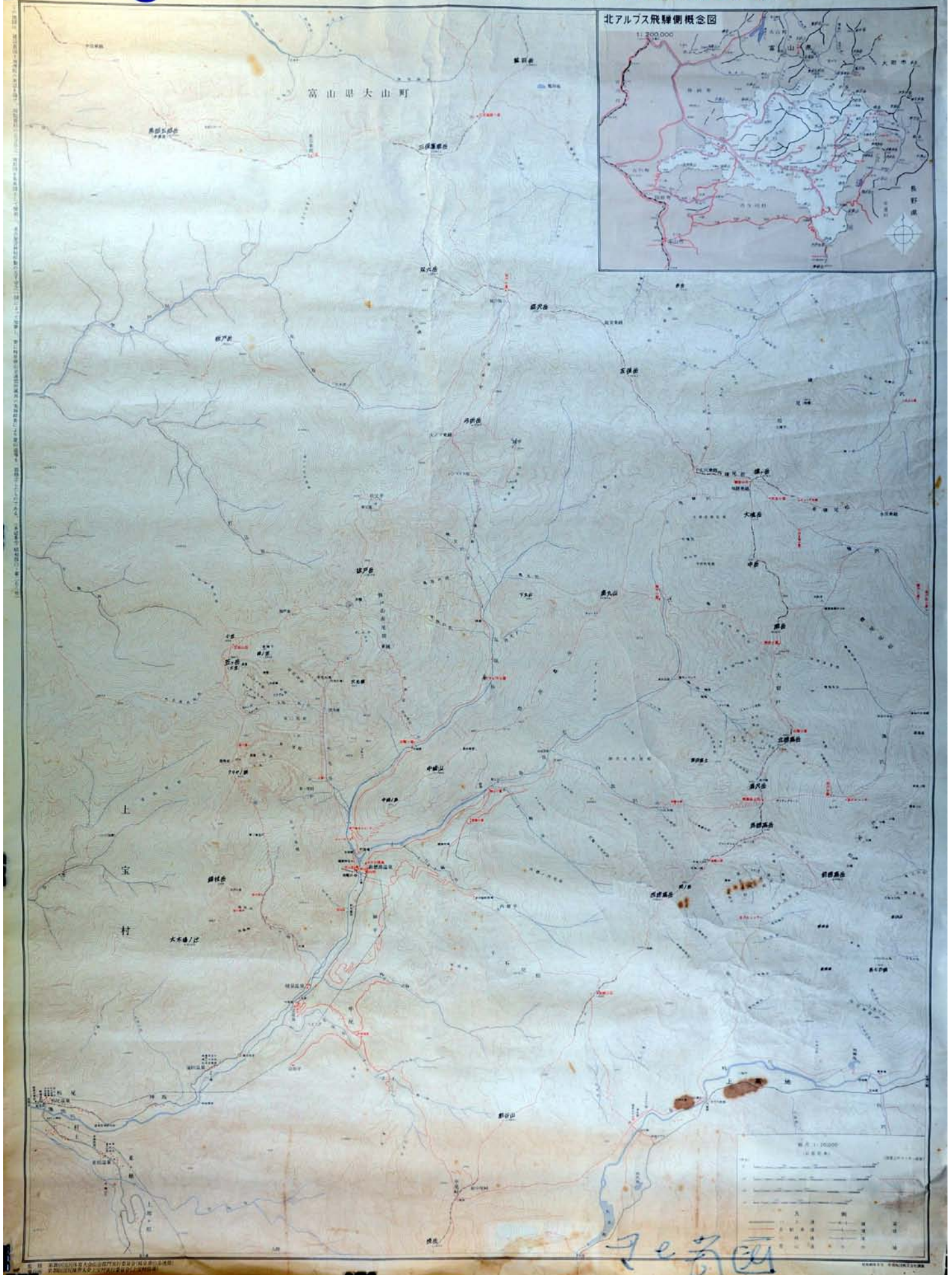




第20回国民体育大会山岳部門会場地図 (空・双六・槍・徳連峰)



(63) 第 20 回国民体育大会山岳部門会場地図 (第 95 図)

年代 昭和 40 年 5 月

発行 第 20 回国民体育大会上宝村実行委員会 (上宝村役場)

寸法 109.7×79

縮尺 2 万分の 1

所蔵 高山市教育委員会

第 20 回国民体育大会は、昭和 40 年に岐阜県を中心に行なわれた。岐阜県では初めての国体で、県内各市町村の取り組みは熱烈であった。秋季大会が 10 月 25～29 日に行なわれ、高山市ではバレーボール、ハンドボールが会場となった。

また夏季大会は 9 月 19～23 日に行なわれ、上宝村 (現高山市上宝町、奥飛騨温泉郷) が山岳種目の会場となった。

この地図はその際に使われた地図で、「第 20 回国民体育大会山岳部門実行委員会 (岐阜県山岳連盟) が監修し、発行は国体上宝村実行委員会による。図の右上に 20 万分の 1 縮尺の北アルプス飛騨側概念図があり、上宝村の範囲が白地になっている。

昭和 40 年当時の上宝村内における車道の状況、旅館名がわかる。また、岐阜県山岳連盟が監修しただけに、詳細な登山道、山小屋が赤色で記され、水場は青色で「水」と記される。

新穂高温泉東北の中崎山北側に「北電小屋」が、西穂平に「本州製紙飯場」の作業小屋があり、製紙用材の切り出し飯場があったことがわかる。また、笠ヶ岳へ登る道で、播隆上人が開いた笠谷からの道が、1,613 ㍎の独標まで記され、雷鳥尾根は未記入で、雷鳥岩の西側は少し記入されている。新穂高ロープウェイはまだできていない。ロープウェイの開通は昭和 45 年である。

※掲載されている情報 (文章、写真など) は、著作権法上認められた例外を除き、高山市教育委員会に無断で複製・引用・転用・転載などの利用をすることはできません。